

## JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 TT 実技試験におけるカメラの持込み受験について（予告）

非破壊試験技術者資格試験 TT1、TT2 の実技試験において、赤外線サーモグラフィカメラの持込み受験ができるようになります。持込み受験の条件等は次の通りです。持込み受験希望者は以下に記載されていることを考慮して準備してください。

### 1. 持込み受験の開始時期

#### 1.1 新規試験・再試験対象者

2024年秋期二次試験（2024年11～12月実施）より、持込み受験を受け付ける予定です。

#### 1.2 再認証試験対象者

2025年春期再認証試験（2025年2～3月実施）より、持込み受験を受け付ける予定です。

### 2. 持込み受験ができるカメラ

現行の試験では、NEC/Avio 製 H2630 及び FLIR 製 SC620 のいずれかを受験申請時に選択し、当協会が準備したカメラで実施しております。持込み可能なカメラについては決定次第、後日公表いたします。

### 3. 持込み受験実施の要点

- ① 受験申請時に「カメラ持込み受験希望」を明示すること。詳細は、受験申請時期の日程表及び受験申請書を参照のこと。
- ② 事前に連絡された実技試験の集合時間・場所に持込み受験で使用するカメラを持参すること。
- ③ 持込み受験では、試験開始前及び終了後に、条件・データ等のメモリを全て消去する。
  - 1) 重要な条件・データは実技試験会場にカメラを持参する前にバックアップを取っておくこと。
  - 2) 初期化状態（工場出荷状態）からカメラの操作が出来るよう取扱い方法に十分習熟しておくこと。（取扱説明書の持込みはできない）
  - 3) カメラに装着されている外部記憶メモリ（SD カード、コンパクトフラッシュ等）は実技試験開始前にカメラ本体から外すこと。
- ④ 持込みカメラの操作方法に関する質問は一切受け付けない。実技試験中に持参したカメラ及び関連機器に不具合が発生した場合には、全て受験者自身で対応すること。

以上